

大崎順彦 「新・地震動のスペクトル解析入門」 正誤表

2021. 06. 25

2021. 08. 31(追記)

2022. 02. 14(追記)

2022. 04. 14(追記)

ページ	行	誤	正						
180	上1	$e_{zx}$	$e_{zx}$						
196	表9-4	77.0	70.0						
223	上23	表3-1	表2-2						
225	上10	表2-2	表3-1						
241	上2	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>DF</td><td>I</td><td></td></tr> </table>	DF	I		<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>DF</td><td>R</td><td></td></tr> </table>	DF	R	
DF	I								
DF	R								
244	上13	$CC=-hW \cos W_d \quad t+W_d \cos W_d \quad t$	$CC=-hW \cos W_d \quad t+W_d \sin W_d \quad t$						
263	上12~16	<p>相続いた3データ<math>A_{k-1}, A_k, A_{k+1}</math> (<math>k=2, 3, \dots, N-1</math>) について, これらはすべて正の数値だから</p> $A_{k-1} \leq A_k \geq A_{k+1}$ <p>のとき, データ <math>A_k</math> をピークと判定する. 振動数 <math>f=f_k - \Delta f, f_k, f_k + \Delta f</math> において, それぞれ点 <math>A_{k+1}, A_k, A_{k+1}</math> を通過する</p>	<p>データの個数を<math>N</math>としたとき, まず相続いた3データ <math>A_{k-1}, A_k, A_{k+1}</math> (<math>k=2, 3, \dots, N-1</math>) が</p> $A_{k-1} \leq A_k \geq A_{k+1}$ <p>ならば, ピークは <math>A_{k-1} \sim A_{k+1}</math> の間にあるとする. 次いで3点 <math>A_{k-1}, A_k, A_{k+1}</math> の振動数を, それぞれ <math>f_{k-1}, f_k, f_{k+1}</math> としたとき, 3点を通過する</p>						
269	上4	50000/, ALPHA	50000./, ALPHA						
270	上4	$T_d=10^{0.31M-3.38}$	$T_d=10^{0.31M-0.774}$						
280	上6~18	プログラム・リスト	p.290 下1~13と入れ替え						
289	上8	$ND2 \geq (NN-1) \times NDIV$	$ND2 \geq (NN-1) \times NDIV + 1$						
290	下1~13	プログラム・リスト	p.280 上6~18と入れ替え						

2021. 08. 31 追加 弘前大学 片岡俊一教授のご指摘による

ページ	行	誤	正
12	下1	公差2cmの等差級数	公差2cmの等差 <b>数列</b>
29	上15	$k, l$ は $l \leq k, l \leq N/2-1$ といった	$k, l$ は <b>1</b> $\leq k, l \leq N/2-1$ といった
49	(4.36)式	第4項 $e^{-[2\pi(N/2)m/N]}$	第4項 $e^{-i[2\pi(N/2)m/N]}$

2022. 02. 14 追加

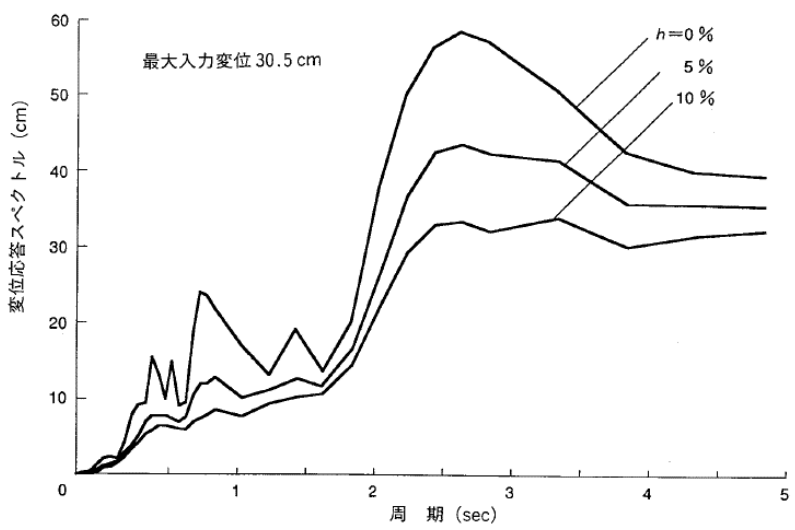
ページ	行	誤	正
140	図7-13	最大入力加速度 44.5 kine	最大入力 <b>速度</b> 44.5 kine
140	図7-14	図の横軸	修正図 (a) 参照
142	図7-15	図の横軸	修正図 (b) 参照

2022. 04. 14 追加 読者の方のご指摘による

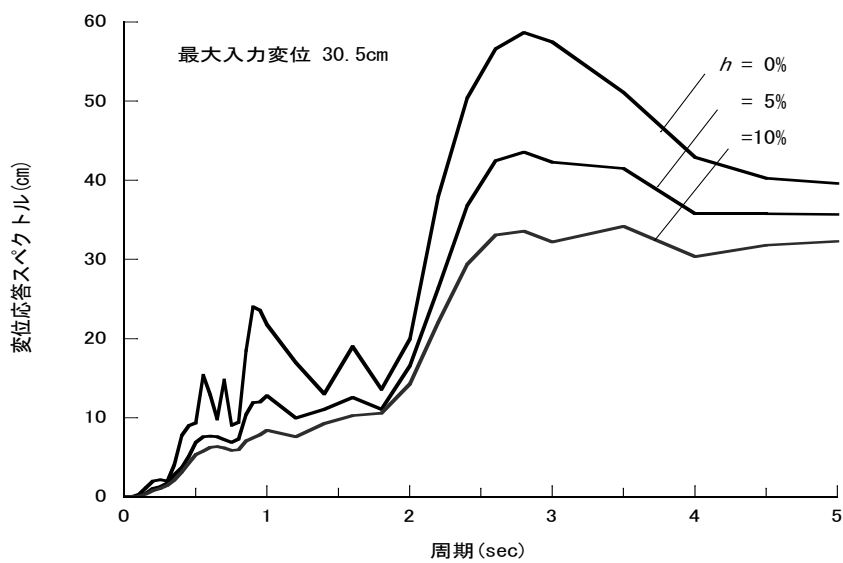
ページ	行	誤	正
9	表1-1	標本値 $x_m$ (sec)	標本値 $x_m$ <b>(gal)</b>
276	下14 下13 下6	表11-1	表11- <b>2</b>
282	3	プログラム上は一応 $T_1=2T_2$ と仮定	プログラム上は一応 $T_1=2T_d$ と仮定

修正図(a) 図 7-14 の修正 図の横軸の周期 0~0.5 秒が他に比べて長く、グラフが全体に左にシフトしている。

(誤)

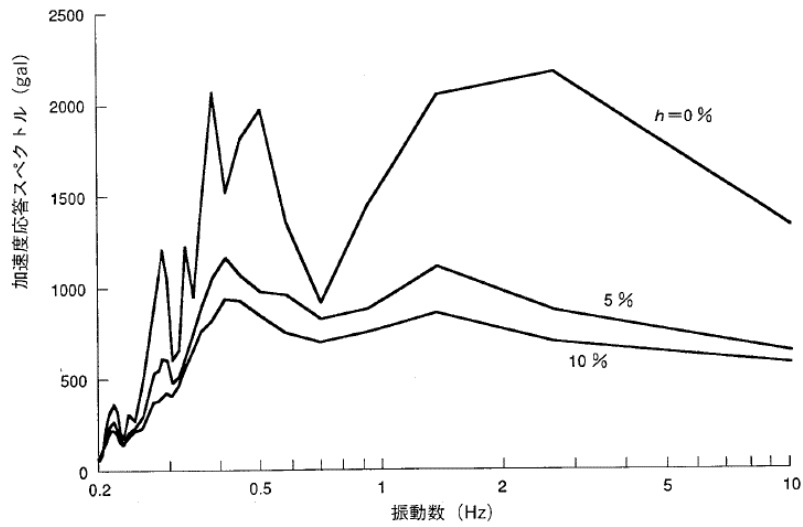


(正)

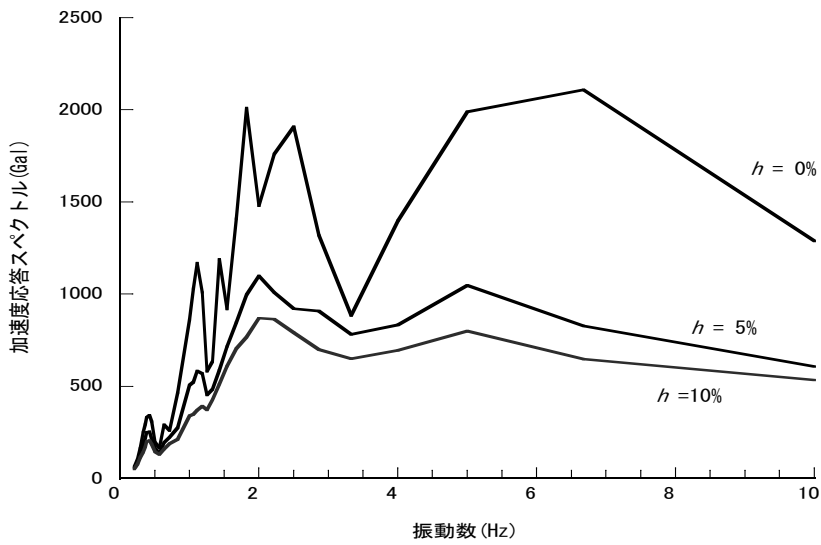


修正図(b) 図 7-15 の修正 横軸の振動数は対数目盛でなく実際は線形目盛で表示されている。

(誤)

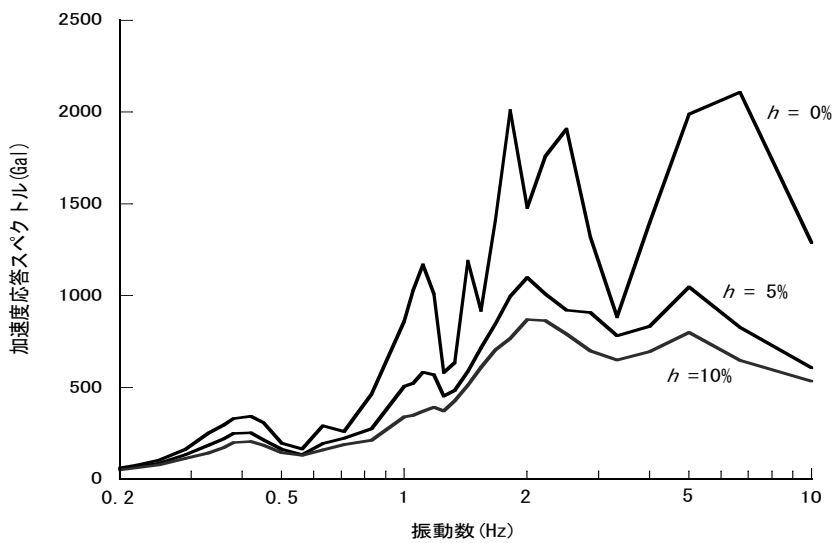


(参考)



① 図の横軸は線形目盛の振動数 (原図は横軸が正しくない)

(正)



② 図の横軸は対数目盛の振動数 (原図はグラフが正しくない)